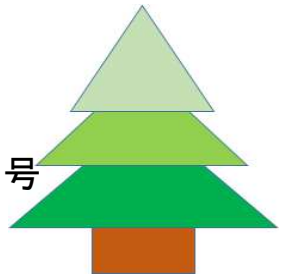




嵯峨宮頼り

第 34 号



嵯峨宮：群馬県みどり市大間々町小平 348 番地

<http://www17.plala.or.jp/sagagu/>

発行日：2024 年 3 月 10 日

発行：嵯峨宮世話人会

大久保長安を今にみる

頼り22号で「天正十八年に関東に入部した徳川家康は直ちに領国内の検地に着手した。桐生領では慶長三年（1598）に代官頭大久保長安を奉行として実施されたが、その際の検地帳として小平村の検地帳が町域で唯一残されている」と紹介した。又下仁田町本宿の神戸家文書には大久保石見守が伊奈備前守、中野七蔵と西上州の西牧地方、現在の下仁田から信州にかけて文禄三（1594）年検地を実施、関所番の割付けも命じたとある。

大久保長安は猿楽師の子として生まれ、武田信玄に取り立てられ金山などの鉾山開発や税務に従事した。武田氏滅亡後は徳川家康の家臣となつて、家康が関東に移ると土地台帳の作成を行い、事務差配を任されるようになる。八王子に八千石の所領を与え

られるが実際は九万石あったという。そこで旧武田家臣団を中心に八王子五百人同心を作り、又石見银山や佐渡金山の開発に尽力し天下の総奉行と称され絶大な権力を得るようになった。晩年は金採掘量が減り家康の寵愛を失い慶長十八年死去する。死後生前の不正蓄財を問われ、長安の子は調査を拒否したため子供は全員切腹を命じられ、関係諸大名も改易された。（大久保長安事件）大坂の陣直前、家康は断固たる処分で身内の引き締めを図り後々の範とした。

令和四年、前総理安倍晋三が暗殺された。二年後安倍派幹部は集めた政治資金の収支報告書を正しく記載せず、税金も払わず、政治倫理審査会での説明もしない。家康なら間違いなく断罪するが、総理や国民に果して家康の代わりができるのか注視したい。

山林は地元民が所有するのが一番いい

昨年の暮れから荷台が背の高い側板の大型ダンプの産業廃棄物運搬車が頻繁に通る。栃木・茨木・春日部などの県外ナンバーで、最近では一日数十台上る。折ノ内から梅田への林道を通り桐生市側の山林に投棄しているようだ。朝5時頃から轟音を立てるので目が覚める。車体には番号も企業名も一切なく、ナンバーも奥まった処で、運転手の顔もフロントガラスが特殊なのが見えにくい。警察も把握はしているようだが、県の森林事務所、市役所、保健所などと連携しないと対応しきれないようだ。地元の実業関係者が山林を見に行ったら「ここは私有地だ」と追い払われたと聞く。昨年桐生市新里町鶴ヶ谷の私有地の原野に大量の産業廃棄物

が投棄されて地元で問題になったばかり、仮置き場だのと言われ後手後手になった。外国人が所有権を取得し本人は本国に帰国したという。最後は税金で処理せざるを得ないということか。

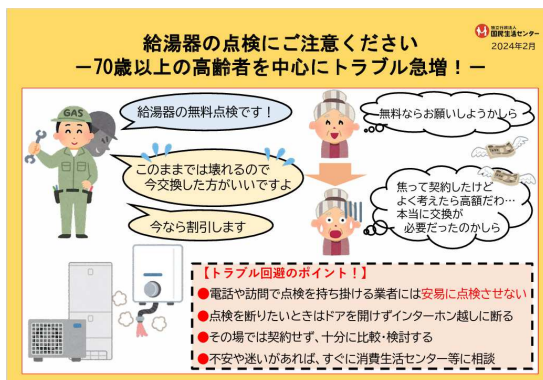
「山林は地元民が所有するのが一番いい」と言われているが、戦後材価は下がる一方で低迷し続けた。林業で生活するのは難しくなつて山林を手放す人や、相続登記が行われず固定資産税を払い続けるだけの放置林が増えた。以前、「山を売りたい人がいたら紹介して欲しい」と頼まれてこつそり言われたことがある。聞けば産廃業者とのこと、その時は物好きな人がいるものだと思いつつもあえて紹介はしなかった。今にして思えば、危なかった。昔から言われていることの重要さを改めて認識した。

給湯器無料点検詐欺 七十歳以上注意

家電（いえてん）に二十代男性と思しき若い声で「こちら〇〇会社の〇〇と申します。只今こちらの地域の「家庭の給湯器がキッチンと作動するかどうかの点検をしております。明後日の三時以降なら伺えますが」都合はよろしいでしょうか。」ふっかけられたら困る。「料金はいくらですか?」「**代金は無料です。**」との返答に、市か安全協会等の安全点検なのだろうと思いつつ入ってしまった。

その日の午後「給湯器無料点検詐欺に注意!」という情報がスマホにLINEで入って職場で噂になっている、先ほどの電話もそれではないか、と連絡が来た。もしかしたらと思いついて「給湯器無料点検詐欺」と入力し検索すると、出るは出るは、県内外のあちこちの自治体や国民生活センターから手口と注

意喚起の情報が沢山ある。



友人何人かに電話すると「その時間は〇〇があつて行けない。申し訳ない。」と断られる。この給湯器を設置してくれた設備屋は「機械に問題があればメッセージが表示される。」メーカーのお客相相談室に電話するとすぐ調べて「当社の方から今お客様へ保守点検に伺う予定にはなっておりません。伺う時は必ず事前にはがきで日時・訪問者名を連絡します。」との回答。市役所の危機管理センターに連絡

すると警察に相談することを勧められる。駐在所に電話すると桐生警察署に転送された。「絶対家に入れてはいけません。インターホンは不要ですと断って下さい。点検それでも帰らない様なら110番してください。」

「その時間見回りに来てもらえませんか?」「人手不足で行けません。110番があれば20分位で行きますから、くれぐれも相手を刺激しないように。」とつれない。これは給湯器無料点検詐欺に違いないと確信し、家の窓・玄関の鍵を点検し掛け直す。以後家電が鳴っても一切出るのの止めた。

当日二時ごろ家電が鳴る。普通は6、7回のコール音であきらめるのに鳴り続ける。間違いない、こいつだ。3、4分も鳴り続けてやっと切れた、長かった、執念深さを感じる。神奈川県ではネット闇バイトで

集められた三人組の強盗殺人事件もあった。用心のため再度家回りを確認し、いざというときの備えもして嵯峨宮に祈って待った。そして三時丁度、一台の軽トラックが勢いよく庭の中へ乗りつけて来た。来たあ! 戦闘態勢で恐る恐る窓からそつと覗く。職人姿の男が一人降りてきた。「あッ、いつもの設備屋さんだ。」心配して駆けつけてくれたと言う。何とも心強かった。それから一時間一緒に待っていたが遂に来なかった。多分二時頃のあの電話に出なかったたので、相手はおかしいと気付き来るのを諦めたのだろう。取敢えず何も無くて良かった。以来在宅の時も窓は閉め玄関には鍵を掛ける様心掛けています。それにしても「シロアリ無料点検」や「屋根無料点検」、「外壁無料点検」等々、共通の**無料点検**という言葉に乗せられ、すぐ修理しな

いと大変なことになると脅され、契約書にサインさせられ、法外な値段を要求される詐欺である。ネットの事例によれば正常なのに不安をあおって高額な給湯器の交換を迫る手口が多くみられるという。消費生活センターへ相談するのも好いようだ。

昔、欲のある老人が土地ころがしで詐欺に遇う例はあつたが、年金で細々暮らす老人には関係なかった。昨今の道徳教育はどうなっているのか、戦前教育に戻せとは言わないが、善悪の壁がSNS等で薄くなり簡単に超えられてしまふ。そういう自分も**ただ**という言葉に安易に乗って軽率な対応を取ってしまう老人で、若者へ忠告する資格はない。次の言葉を肝に銘じるのみである。

「タダ程高いものはない」「人を見たら泥棒と思え」「転じて「家電鳴ったら詐欺と思え」残念である。(阿直)